

家畜衛生だより



令和6年7月第7号
東部・北部家畜防疫獣医師会
(公社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0475(52)4101
FAX: 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

～搾乳牛飼養農家の方へご連絡～

牛ウイルス性下痢 (BVD) バルク乳検査のお知らせ

牛ウイルス性下痢(BVD)の清浄化のため、令和6年度のバルク乳検査を実施します。

実施時期: 令和6年8月頃

検査料金: 無料

申込方法: 所属する生乳出荷組合へ希望の有無を連絡 ※

※ 検査希望のとりまとめは、各生乳出荷組合(各酪農農業協同組合、各農業協同組合)が行います。希望の有無を生乳出荷組合に回答してください。
(【参考様式】「バルク乳検査希望調査」を利用する場合は用紙を提出)

検査実施の流れ

各生乳出荷組合へ検査申請

生乳出荷組合から家保へ
まとめて申請

家保から
採材日
採材方法
のおしらせ
※

採材

検査

各生乳出荷組合に結果報告

※ 採材方法は出荷CSによって異なります。
希望農場には、検査日・採材方法を改めてお知らせします。

- バルク乳検査は搾乳している牛のみのスクリーニング検査です。乾乳牛や育成牛の検査はできません。期間を空けて2回の検査を行うことがスクリーニング検査としては望ましいです。
- 本検査以外に検査を希望する場合、検査機関は下記のとおりです(有料)。
 - 民間検査会社(日本動物特殊診断(株)、(株)家畜健康管理HALC、全農クリニックセンター 他)
 - 家畜保健衛生所 検査結果判明まで1~2週間程度要する場合があります。
- バルク乳検査の対象とならない牛(乾乳牛や育成牛及び子牛)についてBVD検査を希望する場合は、東部家畜保健衛生所までご相談ください。(個体検査は有料です。)

牛の健康状態には常に注意し、疑わしい症状があればすぐ獣医師や家畜保健衛生所に連絡を!

東部家畜保健衛生所 Tel.0475-52-4101 Fax.0475-52-3335

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

(参考) BVDバルク乳検査の流れ

① 検査希望調査

農場から所属する生乳出荷組合へ希望の有無を連絡



生乳出荷組合が希望農場を取りまとめて家畜保健衛生所へ申請

② バルク乳検査（無料）：令和6年8月頃予定

※バルク乳の採材方法・日時は出荷先クーラーステーションにより異なりますので、
詳細が決まり次第お知らせします。

バルク乳陽性



③ 清浄性確認検査

採血・耳片採取による全頭検査（無料）

陽性牛



3週間以上の間隔をあげ再検査



2回目 陽性



PI牛



PI牛が確認された場合、以下の清浄化計画を実施

④ **PI牛の自主的とう汰**（※と畜場・市場への出荷は×）

⑤ **全飼養牛のPI牛確認検査**

→陽性牛は3週間以上の間隔をあげ、再度検査を行いPI牛の判定

⑥ **新生子牛の追跡検査（10か月間）**

《参考様式》生乳出荷組合へ提出

バルク乳検査希望調査

氏名 _____

- ・ 希 望 す る
- ・ 希 望 し な い

バルク乳を用いたBVD検査を希望する場合は下記の項目に記入してください。

記 入 欄

⇒農場名

⇒農場住所

⇒出荷先

クーラーステーション

⇒連絡先

TEL :

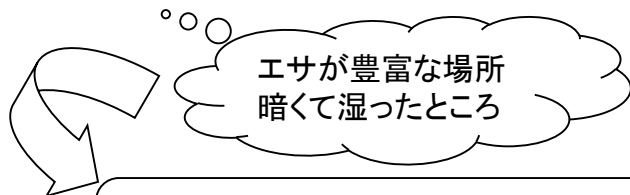
FAX :

ハエ対策を行いましょう!!

POINT: 重要なのは幼虫対策!

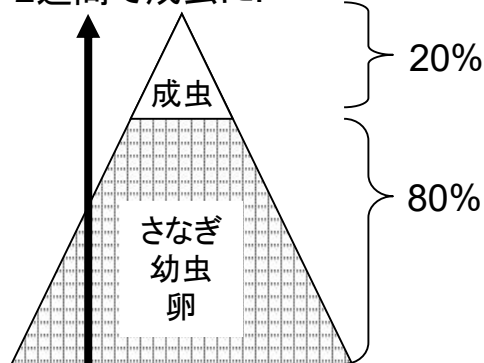
★なぜ?

- ・成虫はたった2割
- ・幼虫が暮らしやすい場所＝ハエの発生源



給餌器(飼槽)のまわり、給水器のまわり、
畜舎内外の糞尿の周辺、排水路など

1~2週間で成虫に!



<ハエの生息割合>

★どうしたらいい?



◎除糞～堆肥化

発生源対策として効果的!

卵・幼虫・さなぎを一網打尽に取り除き、発酵熱(50℃)で死滅させる

○薬剤の使用

IGR剤(昆虫発育抑制剤)が効果的!

糞の上や幼虫がいそうな場所に直接撒いてください

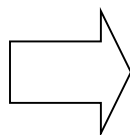
※今飛んでいる成虫に対しては、成虫用の薬剤を使用

- ・ハエに直接噴霧する。
- ・壁などに薬を塗っておく。
- ・ハエの好きな物質に殺虫剤を混ぜてなめさせる。

薬剤は使用説明書にしたがって適切に使用してください。畜体に使用すると休薬期間が必要になるものがあります。ご注意ください。

～清掃・除糞は一石四鳥!!～

畜舎内の環境改善 & 暑熱対策になる
悪臭対策になる
ハエ対策になる



苦情対策にもつながります!

Key Point: 除糞のやり方に注意!

最良の方法は、シーズン最盛期は7日以内に除糞し、定期的に切り返すなどしてよく発酵させることです。ただし、除糞後の新鮮糞は水分が多く、ハエの発生源としては最適です。そのため、労力面で完全な除糞・処理が難しい場合はIGR剤の使用に重点をおきましょう。